生活習慣病の発症予防・進展抑制をめざす食品と食事の設計



「ふじのくに」みらい共育センター 合田 敏尚

• 連 絡 先 TEL: 054-264-5441

E-Mail: gouda@u-shizuoka-ken.ac.jp



糖質の消化・吸収、糖尿病、食後高血糖、慢性炎症、酸化傷害、 バイオマーカー

糖尿病や肥満などの生活習慣病の発症の前段階では、食後高血糖などの代謝の撹乱がみられます。これが局所の炎症を促進し、動脈硬化を介して大血管障害の誘因になることが明らかになってきました。生活習慣病の予防のためには、炎症の進展を抑制できる食事のしかたや食品の選択のしかたが重要です。これまで、断続的に起こる食後高血糖による炎症反応に焦点を当て、その炎症をモニターできる血液指標を開発してきました。現在はその指標を食品や食事の設計に応用することを試みています。本指標は、糖尿病境界領域者に対する糖尿病発症リスクや糖尿病罹患者に対する合併症リスクの評価指標としても用いることができます。また、本指標は、血糖コントロールを目的にした食品や医薬品等の設計のためにも有用です。

炎症バイオマーカーを用いた食品・食事の評価





日本人における生活習慣病リスクに関するバイオマーカーの研究実績が 豊富です。機能性食品成分や食事・献立の有効性を評価するための指標 についてアイディアが提供できます。